

**香川綾** **栄養学者。早くから栄養問題を啓蒙、<敗戦>後、基礎食品群を提唱、長寿社会化への道を開いた。**

かがわあや

Bushidou・1899 = 和歌山県の父の赴任地本宮村で生まれる。

**日露戦争終**・1905 = 6歳：田辺尋常小学校に入学、宣教師のところに預けられ、孤独を味わう。

満鉄発足・1906 = 7歳：父の加太町への転勤に伴い、転校し、

**アヲチ** 創刊・1908 = **9歳**：

大逆事件判決1911 = 12歳：湯浅尋常高等小学校尋常科を卒業。父が加太町長になる。

**明治天皇没**・1912 = 13歳：

大正政変・1913 = 14歳：尋常高等小学校高等科を卒業、師範学校への年齢不足のため、兄の店を手伝いながら勉強。

**第一次大戦始**1914 = 15歳：母が死去し、叔母の恩恵を受けて育つ。和歌山県立師範学校女子部に入学。

**ロシア革命**・1917 = **18歳**：

本格政党内閣1918 = 19歳：師範学校を卒業し、小学校の教師となる。

大暴落・1920 = 21歳：医者を目指し、退職して大阪の小学校に移ったのち、

**原敬首相暗殺**1921 = 22歳：上京して、叔母のところに住み、**東京女子医学専門学校**に入学。

**円本時代始**・1926 = **27歳**：**卒業。医師免許証を取得し、東京帝国大学医学部に勤務し、香川昇三と出会う。**

共産党事件・1928 = 29歳：**\*「飯の炊き方」を発表し、「主食は胚芽米、魚一、豆一、野菜が四」を提唱。**

海軍軍縮条約1930 = 31歳：**香川昇三と結婚。**

**満州事変**・1931 = 32歳：東大を退職。長女を出産。**「種々本邦食品ノ「ビタミン」B含有量拉二之ニ及ボス調理ノ影響」発表。**

五一五事件・1932 = 33歳：長男を出産。

国際連盟脱退1933 = 34歳：次男を出産。**夫とともに「家庭食養研究会」を設置し、会長となる。**

帝人疑獄事件1934 = 35歳：三男を出産、年子4人を抱え、育児に追われる。

**芥川直木賞始**1935 = **36歳**：**月刊誌「料理と栄養」を創刊。**

二二六事件・1936 = 37歳：**夫を所長とする香川研究所を設立。**

**日中戦争始**・1937 = 38歳：**女子栄養学園を設立。**

健保+総動員 1938 = 39歳：**「貯蔵玄米胚芽のビタミンB含有量に就て」を発表。**

大政翼賛会・1940 = 41歳：**「外米の調査と実験」を発表。**

**日米開戦**・1941 = 42歳：

年金+総武装 1944 = **45歳**：父が死去。

**敗戦**・1945 = 46歳：**\*夫が死去。以後、姉と同居。空襲で学園を焼失し、閉鎖。**

新憲法公布・1946 = 47歳：**{「栄養と料理」復刊。群馬県衛生課の依頼により第一回の栄養調査を行なう。**

新憲法施行・1947 = 48歳：**女子栄養学園を復活。**

極東裁判決・1948 = 49歳：**財団法人香川栄養学園を設立。この頃、五つの食品群提唱、計量カップ・スプーンを考案する。**

三大事件・1949 = 50歳：**「日本の料理」(英文)を出版。東京大学から医学博士の学位を授与される。**

**朝鮮戦争始** 1950 = 51歳：**女子栄養短期大学創立、学長兼教授となる。七つの食品群を提唱。**

**独立回復**・1951 = 52歳：学校法人香川栄養学園設立。資源調査会委員。

TV放送始・1953 = **54歳**：文部省教材等調査研究委員、保健体育審議会委員。

自衛隊発足・1954 = 55歳：厚生省栄養審議会委員。

国連加盟・1956 = 57歳：**四つの食品群を提唱。**

なべ底不況・1957 = 58歳：国際協力局の招きにより、アメリカを研究視察旅行。

**イサカラマ**・1958 = 59歳：続いて、欧州諸国を視察旅行。**第8回汎太平洋東南アジア婦人会議に日本代表として出席。**

美智子妃・1959 = 60歳：文部省短期大学教科課程審議会委員。

**安保闘争**・1960 = 61歳：全国栄養士養成施設協会理事となる。

たひたい病始・1961 = 62歳：四年制大学となり、大学学長兼教授となる。私学協、国民生活研究所、文部・農林省の委員をつとめる。

全国総合計画1962 = **63歳**：**教育功労者として藍綬褒章を受章。**

TV宇宙中継始1963 = 64歳：日本栄養・食糧学会評議員、文部省短期大学教育課程等研究委員会委員。

**東京リビウク** 1964 = 65歳：日本学校給食会評議員、日本私立大学協会評議員。

大学紛争始・1965 = 66歳：文部省大学設置審議会委員。**厚生大臣から栄養士養成の功労者として表彰される。**

いざなぎ景気1966 = 67歳：全国調理師養成施設協会副会長、東日本料理学校協会会長となる。

**大阪万博**・1970 = 71歳：**\*日本栄養・食糧学会賞受賞。「四群点教法」を提唱。全国料理学校協会会長となる。**

**ドクショク**・1971 = **72歳**：

**日中国交回復**1972 = 73歳：国民生活センター委員となる。勲二等瑞宝章。

**石油ショック**1973 = 74歳：和歌山県文化功労賞。

JALハイジャック・1977 = 78歳：「一皿に生命をこめて」を出版。

成田衝突・1978 = 79歳：日本栄養・食糧学会名誉会長となる。胚芽米普及協議会が発足し、名誉会長に就任。

**貿易摩擦問題**1980 = **81歳**：**文部大臣から短期大学教育功労者として表彰される。NHKテレビ「女性手帳」に出演。**

**中曽根内閣**・1982 = 83歳：**日本食生活文化財団から食生活文化功労賞を受賞。**

・1984 = 84歳：**学校給食法制定30周年を記念して文部大臣から表彰される。エイボン女性大賞。**

**ジャンボ機墜落**1985 = 86歳：「栄養学と私の半生記」を出版。

**ドイツ統一**・1990 = 91歳：**\*理事長・学長・校長を退任し、香川栄養学園長に就任。ダイヤモンドレディ賞。**

**ソ連崩壊**・1991 = 92歳：**文化功労者。**

**55年体制終**・1993 = 94歳：東京都名誉都民として顕彰される。

・1996 = 97歳：「余白の一行」出版。

金融破綻・1997 = 98歳：**脳内出血のため没した。**

正四位・勲二等・銀杯を受ける。

シリーズ「人間の記録」、「目でみる日本人物百科」、「女たちの20世紀・100人」、